

きょうのできごと

動く毎日の動かない視点

いつもの歩道橋の上でふと立ち止まってみる。そんな瞬間が積み重なって毎日は豊かになっていると思う。

王子駅前歩道橋に3つの「毎日の視点」をつくる。歩道橋は下をいく流れとテンポがずれていて、いつものありふれた風景を少しでも俯瞰することができる。流れが遅いからこそ周囲の些細な変化を顕在化して、わたしたちの動く毎日に動かない視点を与えることができる。決して綺麗ではない雑多なものたちもたしかに私たちの原風景になっている。それをしっかりと感じれる空間をつくりたい。毎日通る歩道橋だから、気づかない日もあるかもしれない。でもその視点は動かないでいつもそこにある。それはすごく暖かいことだと思う。



栗原 季佐

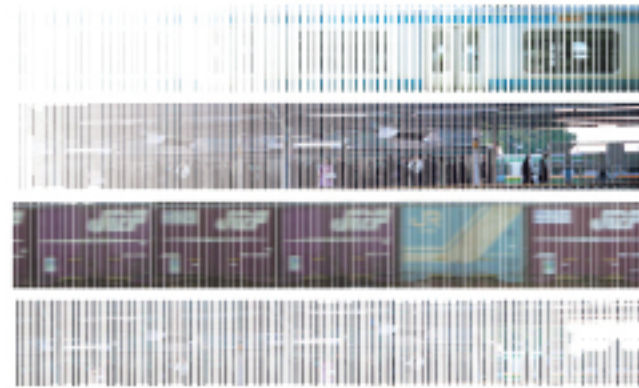
Kurihara Kisa

敷地: 東京都北区王子
規模: 900m²
用途: 歩道橋



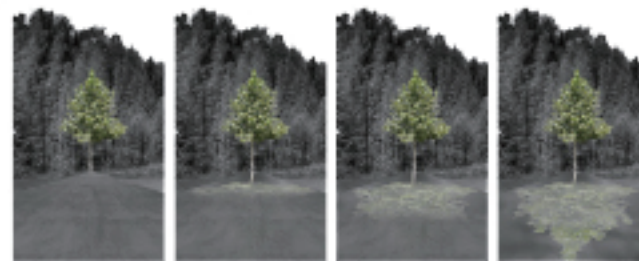
視点01 光と車

歩道橋の上を走る新幹線の高架下に反射率のよい面を設け、歩道橋の下を走る車の流れを映し出す。自分の頭上が光って、空中で車とすれ違ったと気づく。



視点02 風と電車

駅のホームに向かった看板を細く切り、可動にすることで風を投影する。環境が変化することでホームとの視線の交錯も変化する。



視点03 雨と飛鳥山

雨が降ると、勾配1/100で微細に傾いた床に水が溜まっていく。雨が降るほど飛鳥山公園まで近づけなくなるが、足元まで飛鳥山の木々が伸びてくる。